成果報告書(本文)

政策研究センター　リサーチ・プロジェクト　成果報告書

提出日:

申請者(リーダー): 氏名　紺屋　健一　　職名　　政策研究院　教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) 持続可能な開発の進捗状況を測るGDP以外の尺度の開発に関する研究（国・地域・集団毎の差異に着目して）

(英文) A research on developing measurements of progress on sustainable development that complement gross domestic product (focusing on difference among Nation, Area and Groups)

期間(yyyy/mm/dd): 2019/8/1　から　2020/7/31　1年間

共同研究者: 氏名 金子素子　職名　株式会社アルメックVPI　海外事業本部・R&Dセンター　(備考)

共同研究者1

共同研究者2

共同研究者3

共同研究者4

共同研究者5

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究は、上記1における学術的な背景、および政策的な重要性を踏まえ、「SDGsの最後のターゲットである『17.19　持続可能な開発の進捗状況を測るGDP以外の尺度』は世界共通なのか？世界共通ではない場合に、それはどのような差異があるのか？」を明らかにすることを目的とする。

研究成果の概要(800字程度):

(1)前年度研究からの発展

本研究は、前年度に実施した「持続可能な開発目標(SDGs)の社会面のゴール・ターゲットの優先順位の検討」に引き続き行うものである。前年度においては、主としてSDGsにおいて取り残されやすい人々とされる障害者に着目し、SDGsのゴール・ターゲットにかかる優先順位の考え方について分析し、上位目標としての「自立」等が存在し、その達成のために構造化ができることを明らかにすると共に、障害の有無で優先するゴール・ターゲットは異なることを明らかにした。本研究では、これを発展させ、SDGsのゴール・ターゲットは、人により更に多様な優先順位があり得るかを少数民族に着目して明らかにしようとするものである。

(2)研究成果の概要

少数民族は、自身の文化、価値観等を維持しようとする。本研究では、少数民族が自身で議論、策定した重要な権利である先住民族の権利に関する国連宣言等とSDGsとの比較を通じ、少数民族が如何なる価値観を重視するか、それがSDGsとどのように異なるのかを確認した。この結果、SDGsにおいて挙げられているような基本的人権の獲得を目指すことを確認すると共に、これより先に、すべての民族が異なることへの権利、多様性を主張する権利を有することを重視することを確認した。これらは、SDGsにおいては、それを包括する2030アジェンダにおいて、各国の状況を踏まえた差別化を行うとされているのみである。SDGsは少数民族であること、その他障害があることで差別等の不利益がないことを目標とする。これは、SDGsを策定した国連が立脚する世界人権宣言等においても同様である。しかしながら、少数民族であること、障害があることなどを評価し、その差異を認める段階には至っていない。今後、更に異なる文化や文明が互いの違いを理解し、それを尊重した対話をし、多様性を認める社会とすることは、SDGsの次の目標設定においても重要な視点となると考えられる。そのために、特に少数民族がなぜ自身が異なることを権利として考えるか、その思想とSDGsの基本的な思想との差異についての分析が必要と考える。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:
(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	0件 標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	件 発行年	開始ページ	終了ページ	0 査読(有=1)	0 国際共著 (yes=1)	DOI	0 オープンアクセス (yes=1)
1							-				
2							-				
3							-				
4							-				
5							-				

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

	著者・編者	0件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1					
2					
3					
4					
5					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	0件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1					
2					
3					
4					
5					